

申之、重被問云、水干裝束ニテヨカリシ人、又誰ヲカ見哉云々、遊女申云、肥前守景家ト申人、コソ見候シカト、詞未了前忽解脱云々、

〔古事談三僧行〕畫寫上人可奉、見生身普賢之由祈請給、有夢告云、欲奉見生身普賢、可見神崎遊女長者、云云、仍乍悅行、向神崎相尋長者之處、只今自京上輩群來游宴亂舞之間也、長者居横坐、執鞞、彈拍子之上句、其詞云、周防ムロヅミノ中ナルミタラヒニ風ハフカチドモサ、ラナミタツト云々、其時聖人成奇異之思、眠而合掌之時、伴長者應現普賢之貌、乘六牙白象、出自眉間之光、照道俗人、以微妙音聲說曰、實相無漏大海、五塵六欲風不吹トモ、隨緣真如之波タ、ヌトキナシト云々、其時聖人信仰恭敬シテ拭感涙、開目時ハ亦如元、爲女人之貌、彈周防室積、閉眼之時ハ、又現菩薩形、演法文、如此數ケ度敬禮之後、聖人乍涕泣退歸、于時長者俄起座、自閑道追來、聖人之許、示云、不可及口外ト、謂畢即逝去、于時異香滿空云々、長者俄ニ頓滅之間、遊宴醒興云々、

〔拾遺古德傳繪詞七〕第六段

室ノトマリニツキタマヒケレバ、遊君ドモマイリアツマリテ、往生極樂ノミチ、ワレモトタヅネマウシケリ、ムカシ小松ノ天皇光孝天皇八人ノ姫宮ヲ七道ニツカハシケルヨリ、遊君イマニタエズ、或時天王寺ノ別當僧正行尊拜堂ノ爲ニクダラレケル日、江口神崎ノ遊女、舟ヲチカクサシヨセケレバ、僧ノ御舟ニミグルシクトイヒケレバ、神樂ヲウタヒイダシハンベリケリ、有漏地ヨリ无漏地ニカヨフ釋迦ダニモ羅睺羅ガ母ハアリトコソキケト、僧正メデ、サマトノ纏頭シタマヒケリ、

〔法然上人行狀畫圖三十四〕同國磨○播

室の泊につき給に、小船一艘ちかづきたる、これ遊女がふね

なりけり、遊女申さく、上人の御船のよしうけたまはりて推參し侍なり、世をわたる道まぢくなり、いかなるつみありてか、かゝる身となり侍らん、この罪業おもき身、いかにしてか、のちの世